

- 狂犬病予防集注注射……………2面
- 親子漁場見学会……………3面
- 震災から2年
災害に強い街を目指して…4-5面
- 「シニアカレッジ」で
生きがいつくり……………6面
- 春の健康教室……………8面



大和田地区施工状況

工事進む 外環道路

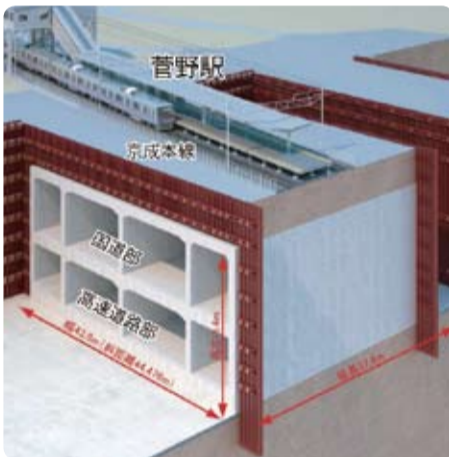
平成27年度末の全線開通を目指し、外環道路千葉区間の工事が進められています。道路整備による利便性の向上や渋滞の解消、植樹帯による緑の増加、防災性の向上、また下水道幹線の収容空間ができることによ

る下水道の普及など、多くの利点が見込まれます。ここでは工事に伴う緑の保全や工事の周辺環境への配慮など、工事現場の現状を紹介します。

問合せ 334-1408 外環道路推進担当室

京成本線交差部工事

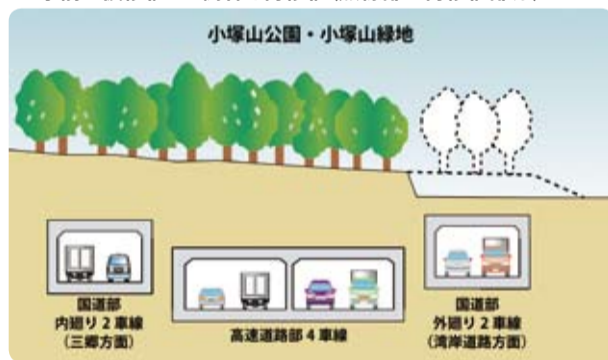
日中だけでなく、京成本線の運行が停止している夜間も施工する必要があるため、周囲に音が漏れないよう、施工箇所を建物で覆い、工事を進めています。最終的には、完成予想図のように京成本線の地下に国道部と高速道路部が通るようになります。



北国分地区トンネル工事

小塚山公園の地下を通る外環の高速道路部と国道部のトンネル部分は完成しており、工事前に仮移植した樹木を戻す、再移植工事を進めています。

▼事前に仮移植した樹林を再移植(点線部が再移植部分)



市民のみなさまへ 3年後に全線開通予定 外環道路

おおくぼひろし
市長 大久保 博



外環道路の工事現場で説明を受ける大久保市長

市内を散歩しますと、桜の蕾が膨らもうとしています。今年には特に寒い冬でしたので、みなさんも満開の桜を心待ちにされていると思います。

広く市内に目を向けますと、外環道路千葉区間の工事が平成27年度末の全線開通を目指し、国土交通省と東日本高速道路株式会社により進められています。外環道路は首都圏の広域交通網を担い、本市にも大きな整備効果をもたらします。代表的な効果は次の三つです。

一つ目は、利便性の向上です。試算では、湾岸道路と常磐自動車道の間が外環道路を使い約15分で移動可能になるなど、旅行などの遠出がしやすくなります。また、物資の輸送でも効率性が高まり、経済産業効果が生まれます。

二つ目は、市内の交通渋滞の解消です。市内を南北に移動する車が外環道路を利用することで、市内全体の交通渋

滞が解消され、併せて生活道路への車の流入が減少します。三つ目は、下水道の普及です。外環道路の地下に下水道の幹線が整備されることで、今後、幹線に接続する下水道の整備が始まります。

このほか、災害時の緊急輸送路などとして防災性の向上が見込めるうえ、市の魅力を高める施設となる「道の駅」の設置、植樹帯を活用しての「ガーデニング・シティいちかわ」の事業促進なども検討しています。

外環道路周辺にお住まいの一部の方々は、道路による地域の分断、騒音や振動など、生活環境への懸念の声を伺っていますので、事業者にはしっかりとした対策を取るよう今後とも求めてまいります。

外環道路は市川市の将来を見据えた事業であります。3年後の完成が契機となり、さらに市川市が発展するように取り組んでいきたいと思っております。